

テーマ②-2 みんなで市民参加と協働のまちづくりを活性化し、支え合うには…(資金の面)

着眼項目	分類区分	出された意見やアイデア	③No.	班	カード 番号
(まちづくりの為に 支え合う制度)	税と寄付の位置づけ、 優先順位、役割分担	市民税払っています。	1	C	1
		市民税をまず使う	2	C	2
		【税ライン引き「寄付」寄付をすすめるには?】	3	C	4
		成果の尺度が難しい。定年あとおし講座のボランティアグループで活動して7年目。夏の暑い日にはペットボトル程度のお茶代が欲しい。(活動は楽しいですが…)	4	C	22
		市のお金と寄付によるお金の違いはなにか?(市に求める…寄付に求める…の違い)	5	D	3
	寄付の集め方の工夫	町会費とかにも含まれている。募金もけっこうある。	6	C	3
		市民気持ちを募金に表す。	7	C	7
		情報が少ない。(寄付が進まない理由)	8	C	10
		お祭りの一部収益を使う。例. カナリヤ保育園では夏祭りの収益を使っています。	9	C	18
		【市民の日常行事を活用すれば良い!】	10	C	
		指定事業者制の利用	11	C	19
		寄付を受け付ける構造が不明確	12	D	1
		寄付先が不明確	13	D	2
		自治会費にまちづくり費を5%程度含める。→自治会単位で行う。	14	D	4
		野洲市イオンの工夫 寄付先をレシートで決める →少額を目的のグループに寄付する。	15	D	5
		守山駅前(西友の工夫)レジで寄付先を決める。	16	D	6
		寄付の行先を明確に表にまとめる。	17	D	7
		守山市のイメージ商品に寄付金を上乘せする。少額寄付をたくさん集める。	18	D	8
		目的をハッキリさせて、商店の物品にまちづくり税をつける。(カーリングチーム青森の強化資金)	19	D	9
		寄付金付き商品の場合 具体的に寄付先を示して、誰でも理解出来るようにする。(おーいお茶琵琶湖環境保全の例)	20	D	10
		市民活動や協働のまちづくりに参加することで、どのようなメリットがあるかが分からない。分からないから寄付していいか不安だ。	21	D	11
		協力してほしい。(ボランティア団体がどれだけあっても、どれだけの人がいるか解らない)	22	D	20
		寄付集めの方法は目的によって変える ①街角で募金集め②町内で回覧 1口〇〇円方式	23	E	1
		市民と企業が共同で意見交換しながら考えれば。	24	E	2
		企業の参加 市民と企業の連携	25	E	7
		最近不況で資金面のスポンサーが少なくなった。	26	E	15
		現状、日本では寄付文化はなじまない。	27	E	16

テーマ②-2 みんなで市民参加と協働のまちづくりを活性化し、支え合うには…(資金の面)

着眼項目	分類区分	出された意見やアイデア	③No.	班	カード 番号
(まちづくりの為に 支え合う制度)	寄付で支える活動の 情報公開(目的、内 容、成果報告)	市民のボランティア活動に寄付金が配付されるよ うなしくみはないのかな？	28	C	5
		具体的なテーマ等がはっきりしていて、見える成 果があるもの	29	C	6
		自分の家族が直接的に関係していることが分か れば寄付する気も起きる。例. 子ども、健康。	30	C	8
		つかったお金でどんな成果があったのかを、知 てもらおう。	31	C	9
		寄付は市民活動している人たちにグループに配 布。わかるようにしたら良いのか(悪いのか?)	32	C	11
		災害ボランティアへの寄付はボランティアに行く 方の交通費、食事費等行先、目的が明確になっ ていれば寄付はしやすい。	33	C	17
		子ども達とボランティアに活動に参加する！(人 件費がかからず子どもも町に感心を持つ)	34	C	20
		市の施設を集まる場所に使う。(資金を使わず実 施する工夫)	35	C	21
		【やってみないと、分からない】	36	D	
		具体的対策(実行段階)時の予算をどうしたら いか解らない。	37	D	14
		ザクッともらって、余ったら返す。	38	D	15
		【資金必要】	39	D	
		自転車置場が守山に改善してほしい。(駅前方 面)	40	D	16
		障害者の活動の場が少ない。	41	D	17
		地域での老人の憩いの場をもっとほしい。	42	D	18
		未就学児の子育ての場が少ない。	43	D	19
		【お金が無くても、出来ることがある】	44	D	
		目的がはっきりしない。※自分にとって利益が あるのかどうか、解らない。	45	D	21
		具体的に 全市民の参加で、市内から散在性ゴ ミを無くす事を実現し、そこから次の市民活動 を考えていく。	46	D	23
		課題の解決につながると思えること。	47	E	3
		使われ方が明確に分かること	48	E	4
		資金面で市予算50%寄付50%等(100%寄 付は良くない)	49	E	5
		事柄によって少人数の寄付でも良い場合と、 多くの人に出してもらわなければいけない場 合がある。	50	E	6
		【寄付の使い方、目的】	51	E	
		寄付は何に使うか目的を明確にする→結果報 告をする。	52	E	8
		やった結果が、皆さんに伝わらない。(伝 えるようにすれば良い) → 成果	53	E	9
例えば、自治会活動に対する寄付が考 えられる。ただし、数人(役員だけ)で決 定して実行するとだめ。	54	E	10		
寄付は内容が明確でないとダメ。	55	E	11		
まちづくりは対象者全員に呼びかけ理 解してもらい必要がある。	56	E	12		

テーマ②-2 みんなで市民参加と協働のまちづくりを活性化し、支え合うには…(資金の面)

着眼項目	分類区分	出された意見やアイデア	③No.	班	カード 番号
(まちづくりの為に 支え合う制度)	寄付で支える活動の 情報公開(目的、内 容、成果報告)	寄付金の使われ方	57	E	13
		NPOなど活動資金については各団体で→寄付では続かない。	58	E	14
		寄付では続かない。寄付が無くなれば止まる。	59	E	17
		市民活動支援対象を幅広く。	60	E	22
		【集まったお金の使い方】	61	E	
		行事に参加する人で世話役にはお茶だけでも出してやる。	62	E	28
		無作為抽出の参加者に謝礼をお支払いしてはどうか？	63	E	29
		ボランティアのお茶代くらいは。	64	E	30
		ボランティア養成 人材養成	65	E	31
	何れの行事をする時多少の費用必ず必要である。	66	E	32	
	市民参加促進予算を 増やす	具体的に生活河川にネットを張ってゴミをすくいあげ、自治体回収で焼却する。金も技術もいらず実践できる。(自治会活動を超えたり課題が出たところで、自治会と行政で相談)	67	D	22
		市の予算を増やす。	68	E	18
		ハードからソフトへのチェンジ 考え方の変更。	69	E	21
		寄付金の代わり民生費より支出しては？	70	E	24
		寄付文化はなじまないのであれば、市の財政で考えたら(ハンガリー条約)	71	E	25
		ハンガリー条約を参考にできないか？	72	E	27
	補助金、交付金	活動に必要とされる。資金を予想することは難しい。動き出してから生まれる物も多い。	73	D	13
		補助金、助成金の情報提供と収集	74	E	23
		NPOでないなど個人での活動への支援策が少ない。	75	E	26
(情報発信)	市の予算について 知る事が大切	【数字は出しているが読み取れない(予算の概要など)】	76	C	12
		単年度だけではなく、長期的な記載も必要	77	C	13
		市の予算概要などは、出しているが読み取りにくい。言葉がむづかしい。要約した説明文がほしい。(要約は、市民で必要と感じる説明文について話し合うのもひとつ)	78	C	14
		(守山市がどうかはわかりませんが)市のお金の使い道がわかりにくいのでは。	79	C	15
		何にいくら使ったのか。無駄が無かったのかを分かりやすく提示する。	80	C	16
		現在、どのような用途で市のお金が使われているのかを具体的に、市広報、自治会掲示板に提示させる。そして、自治会単位での話し合いで、用途について議論していく。	81	D	12
		【市の予算】	82	E	
		市の予算をチェックするしくみ	83	E	19
市民懇談会で市の予算について知ること。	84	E	20		